

2026年3月17日

報道機関 各位

## 生成 AI を利用した模擬患者アバター 医学生の医療面接能力向上を目指し、株式会社システック井上と 共同開発・製品化を実現

長崎大学（情報データ科学部 今井哲郎 准教授、医学部 川尻真也 准教授、山梨啓友 准教授の研究グループ）と駒澤大学（グローバル・メディア・スタディーズ学部 小林透 教授）、株式会社システック井上（代表：井上 達 氏）は、2024年より生成 AI を活用した「模擬患者アバター」に関する共同研究を進めてまいりました。このたび、主要な研究開発が完了いたしましたので、下記のとおり本研究成果を発表いたします。

当日は、本学医学部で実施した評価結果の説明に加え、実際のデモンストレーションをご覧ください。なお、今回の研究成果は、製品名『S-Smart 模擬患者』としてシステック井上より販売を開始する予定で、すでに県外2大学への導入が計画されています。

医療分野における生成 AI の新たな活用として注目いただける内容となっております。ぜひ、この機会にご取材ください。なお、取材をご希望される場合は、事前に末尾の問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

【日時】2026年3月26日（木）10:00～11:00（受付9:30～）

【会場】長崎大学テクノロジーイノベーションキャンパス（NUTIC）ラウンジスペース  
（長崎市幸町7-1 長崎スタジアムシティ NORTH 4階）

【内容】

- ① 模擬患者アバターの研究成果概要説明（今井哲郎 准教授）
- ② 医学部生による模擬患者アバター評価結果の説明（川尻真也 准教授/山梨啓友 准教授）
- ③ 模擬患者アバターデモンストレーション（株式会社システック井上 遠山修平 氏）
- ④ 質疑応答

### 本研究の背景（模擬患者とは）

「模擬患者」とは、医学生のために患者役を演じ、事前に設定されたシナリオに基づいて、問診などの練習相手をする人のことを指します。医師が患者とのやりとり（問診などの医療面接）を学ぶには、患者の話を受け止め、理解したうえで、次の質問を投げかけるなどのコミュニケーションスキルが欠かせません。これは講義による知識の習得だけではなく、実践的な体験学習によって得られるものであり、模擬患者にご協力いただく医療面接演習は、医学生の効果的な教育につながっています。

一方で、模擬患者には実際の患者と同じような症状を再現することや、シナリオに関する理解などが求められており、本学を始め各医療教育機関では模擬患者の養成や確保が難しく、大きな課題になっています。さらに、模擬患者が対応できる疾患の種類が限られている場合も多く、様々な疾患を包括的にカバーすることは難しいという課題も存在しています。

これらの課題を解決するために、長崎大学と株式会社システック井上は、模擬患者の代わりとして生成 AI を活用した「模擬患者アバター」の開発を行いました。

【開催場所案内】



※駐車場は近隣の有料パーキングをご利用ください。本学が管理する駐車場がないため、  
駐車場料金は申し訳ありませんが、ご負担願います。

【参考】

# S-Smart 模擬患者

## 医療面接トレーニング用模擬患者アバター



医学教育は医学に関する知識習得とあわせて、  
問題解決のための実践力習得が必要とされている

実践力を身に付けるためには、  
模擬患者参加型の演習が有効である

しかし・・・

模擬患者の養成は  
容易ではない

多様な疾患や状況を  
網羅的にカバーすることは難しい

AIを利用した模擬患者により解決

えっと、その...おなかが、ちょっと痛くて...それだけ、なんですけど...



山田孝  
山田孝 医療を拓く医療院

### 特徴

- 多様な模擬患者を簡単に生成することができる
- 音声によるリアルタイムな会話ができる
- 医療従事者全般の教育に利用することができる
- 学習内容のフィードバックにより学びに繋げることができる
- スマホやタブレットで利用することができる

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学情報データ科学部 准教授 今井 哲郎

TEL : 095-819-2578 Email : imai@nagasaki-u.ac.jp